

## 2. 第三期(令和6年度～令和11年度)データヘルス計画実施事業の概要

| 基本分析 |  | → | 基本分析から見える主な健康課題   | → | 健康課題に対する対策の方向性                   | → | データヘルス計画実施事業   | → | アウトプット(実施目標)       | → | アウトカム(成果目標)                  |
|------|--|---|---|---|----------------------------------|---|--|---|--------------------|---|------------------------------|
| 1    | 健診受診状況   | → | 被扶養者の健診受診率は27.1%で他健保に比べ低い   | → | 健診受診率向上のため、未受診者へ健診受診を促す          | → | <b>1. 被扶養者に対する健診の受診勧奨</b><br>健診受診者に健診結果に基づく「健康年齢通知」を送付することにより、健診の定期的な受診を促し被扶養者の健診受診率向上につなげる。 | → | 対象者への通知実施率100%     | → | 被扶養者の健診受診率80%                |
| 2    | 生活習慣病分析  | → | 健康課題マップのリスク階層把握分析よりやや健診値が悪化しはじめた階層である不健康な生活群13,617人が全体の22.6%を占めており、最も多い階層となっている   | → | 生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善         | → | <b>2. 特定保健指導実施率の向上</b><br>メタボリックシンドローム減少を目的に、保健指導を実施。生活封緘改善アドバイスを行い行動変容を促す。                  | → | 対象者への指導勧奨100%      | → | 特定保健指導実施率30%                 |
| 3    | 後発医薬品使用状況                                      | → | 2023年3月の数量割合は83.6%と他健保と比べて0.8ポイント高い   | → | 後発医薬品に切替余地がある対象者へ切替を促す           | → | <b>3. ジェネリック医薬品の利用促進</b><br>後発医薬品に切替余地がある対象者へ差額通知を実施し、後発医薬品への切替を促す                           | → | 対象者への通知実施率100%     | → | 後発医薬品への切替比率85%<br>(厚労省基準80%) |
| 4    | 生活習慣病分析<br>医療費比較<br>生活習慣病分析<br>疾病状況<br>治療放置群分析 | → | 生活習慣病を疾病別に分析すると、高血圧症の医療費が最も高い患者数は男性被保険者が多く、変化率では脂質異常症が経年比較+26%で最も高かった<br>健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が悪いにも関わらず通院をしていない対象者が23,519人いることがわかった | → | 未通院者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す     | → | <b>4. 生活習慣病リスク者に対する医療機関への受診勧奨</b><br>生活習慣病リスク者で医療機関での治療を放置している方に対し、手紙による受診勧奨通知を送る            | → | 低・中リスク者への通知実施率100% | → | 通知者の受診率15%                   |
| 5    | CKD(腎臓病)ステージマップ                                | → | CKDステージマップとレセプト突合によりG3a以上のリスク者3,601人の内、2,601人が未通院であった。第二期よりもそれぞれ2,897人、2,265人増加している   | → | 重症化により、透析導入など重症疾患を予防するため、早期受診を促す | → | <b>5. 慢性腎臓病(CKD)の重症化予防</b><br>慢性腎臓病(CKD)リスク者に対し、手紙による受診勧奨を促す。生活習慣病の受診勧奨と連動させることで効果を高める       | → | 対象者への通知実施率100%     | → | 通知者の受診率30%                   |